

社会司牧通信



202504

★印はカトリック関連

平和の使徒推進本部 正義と平和推進デスクでは、教会が社会へ発信しているメッセージや社会の中で活動する団体の情報をお知らせします。社会へのチャレンジの第一歩として、積極的にご参加ください。

【正義と平和協議会 関連】

★[2011年3月11日東京電力福島第一原子力発電所事故から14年「神をたたえよ、造られたすべてのもののゆえに」](#)（日本カトリック正義と平和協議会）



★[日本カトリック正義と平和協議会50年記念『「正義と平和」の50年』を発行しました](#)



今から50年前の1974年、司教の委員会と信徒の活動を統合し、日本カトリック正義と平和協議会が設立されました。正義と平和協議会、そして日本のカトリック教会は激動の半世紀をどのように眼差し、動いてきたか。その軌跡を書き下ろしの記事、資料でたどります。正義と平和広島協議会の歴史も記載されています。

【「ラウダート・シ」関連】

★[20/03/2025\(木・祝\) 10:00 AM 四旬節黙想会とミサ](#)

イグナチオ教会で開催された四旬節黙想会のYouTube配信です。

テーマ：『エコロジカルな回心』 ミサと指導：瀬本正之 sj（イエズス会）



【Caritas Japan 関連】

★[カリタスジャパン2024年度の報告書を確認できます。ダウンロードしてご確認ください。](#)
自分たちの献金はどう働いているか、確認出来ます。



[2024年度年次報告書 - Caritas Japan](#)

★[債務を希望に変えよう \(TURN DEBT into HOPE\) キャンペーン - Caritas Japan](#)

このキャンペーンは教皇フランシスコの2025聖年の呼びかけに responding 行うもので、持続不可能な債務に苦しむ国や地域社会に新たな希望をもたらすために、債務の正義と変革的な金融政策を提唱しています。

署名の所属欄に、悩んだときは、[Caritas Hiroshima]でOKです。



【能登半島地震 関連】

★[のとせんブログ](#)（名古屋教区 カリタスのとサポートセンター）

第5フェーズ（4/23～9/28）の募集が始まりました。

夏休み期間にも該当しますので、学校関係でのボランティアも検討可能です。



3月末現在、6/30までは、災害ボランティア車両の高速料金免除を申請できます。利用希望の方は、サイトの注意事項をよく読み、ボランティアセンターに申し出て利用してください。（ボランティア証明印をもらう必要があります。）

[災害ボランティア車両 高速道路通行証明書発行サイト](#)

『軽やかな心』

ロクスひよりやま キャプテン 中井 淳 SJ
(旧下関労働教育センター イエズス会神父)



3月の初めに年の黙想をしました。黙想と同時に、祈りながら、私がフランスで出会った『エコロジカルな回心のための霊的な旅路』を出版するために、その本の付録の部分を訳していきました。最後の方に、エロワ・ルクレールという方が書かれた、アシジのフランシスコの霊性についての「軽やかな心」という文章がとても心に響きました。自然を兄弟姉妹として感じるからこそ、謙遜になり、神への信頼を深め、宇宙と響き合っていく「軽やかな心」。これこそ自分が求めていきたいものだと思ひに刻みしました。

そして、3月の終わりに、何度かこのコラムで紹介した、栃木県的那須塩原にある、世界中から人々が集まる農村学校「アジア学院」を再び訪れました。今回は、私が所属するイエズス会社会使徒職チームの定期的に行う会議をアジア学院ですることになったのです。

昨年の4月にアジア学院を訪れたことは、私にとっていろいろな意味で大きな転機になりなりました。そして、仲間たちと共にここに戻ってくるという夢が実現しました。大自然の中で畑仕事をしながら、心と体が喜んでいることを感じます。世界の青年たちと言葉を交わしあうことに心がうきうきします。二日目は、4月から校長になる荒川治さんにお話を聞いてわかちあいを行いました。私にとって、その時間は今までこの一年間、エコロジーをテーマに行なってきたことを振り返りながら原点に戻る時間でした。これから何をしようか、何を実現していくのか、そのことに気持ちが向かってしまっていたのですが、私自身のエコロジカルな回心を深めていくことが、まず大事なことのだと気づかされました。自分は土から作られ、より深く土となっていくという霊性へと変容していくこと。そうするならば、自ずとエコロジカルな憧れは実現していくだろうということを深いところで感じたのです。



また、それは美しさへと開かれることでした。このチームをまとめてくれている梶山神父が「神は真・善・美であると言われるが、美というものは他の二つに比べてカトリック教会の中で深められてこなかったかもしれない。この時代に私たちは自然の美しさ后感嘆し賛美していく感性を深めていかなければならないのではないだろうか」という趣旨の言葉が響きました。その美しさというのは、イエス・キリストの十字架の美しさです。自然の美しさの中に、そして小さくされた人々の中に、神の美を見出していくことで、私たちはアシジのフランシスコが深めた、軽やかな心の霊性を深めていくことができるのだと思います。

そのような霊性を追い求めながら、自分ができることをやっていきたいと思ひます。

★カトリック広島教区 ハラスメント相談窓口 ★

広島教区人権擁護デスク

受付時間 木曜日(祝日を除く) 9:00~16:00 電話番号 080-9795-3676

メール: desk-hiroshima@catholic.hiroshima.jp

H・Social**H・Social**H・Social**H・Social**H・Social**H・Social

『ともに歩むあたたかさのある教会をめざそう~あたたかさの源泉に立ち帰る(典礼活動)』

発行 カトリック広島教区 平和の使徒推進本部 正義と平和推進デスク

TEL: 082-221-6613 FAX: 082-221-6019

ホームページ <https://www.social-desk.net/> E-Mail info@social-desk.net